

日田市立

咸宜小

学校

令和8年 4月 1日

【学校の教育目標】		たくましく ゆたかに 立つ			資質・能力との関連			担当
【育成を目指す資質・能力】		自己を客観的に捉える力			知識・技能	思考力・表現力	学びに向かう力・人間性等の涵養	
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標					
基礎学力を身につけ、児童集団の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学期毎の単元テストにおいて、期待値未満33%以下の学級を国・算共に11クラス以上にする。 R7年度3学期末結果(30%以下) 国語16/18 算数10/18</li> <li>「勉強(新しいこと学ぶこと)は好きです。」の問いに肯定的に回答する児童の割合を全体で83%以上にする。 R7年度平均 86% (1学期82%)</li> </ul>	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎基本の学力保障</li> <li>○ ICTの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担任は、週末課題を効果的に実施したり、放課後等の時間を使ってやり直しの徹底を行ったりすることで基礎基本の定着を図る。Qubenaの活用では、解説をしっかりと読ませ、解き直しを必ずさせていく。</li> <li>○ 担任は、キュビナを活用する際、正答率や解答数等を各自で確認させ、学習意欲の向上や自主的な学習に取り組む力をつけさせる。1・2年担任は、授業の中でICTを効果的に活用し学習意欲の向上に努める。</li> </ul>	○			研修部
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者は、毎学期行う生活習慣教化週間で「生活万善簿」を活用し、家庭学習の状況チェックを行い、各学年の目標家庭学習時間の実現を目指す。</li> </ul>	○			保体部
		学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「単元末・単位時間ごとの振り返りの場面で、OPPAシートを使って自分の学びを深め次につながる振り返りができた」の問いに肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 R7年度3学期末「振り返りで自分の学びを深めることができた」結果 92%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ メタ認知の向上</li> <li>○ 「自立した学習者」を生む授業づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担任は、単元末や単位時間内で自分の成長や軌道修正につながる振り返りの場面を設定し、OPPAシートを活用し児童のメタ認知の向上を見取る。</li> <li>○ 担任は、算数科の各単元の中で必ずあいあいタイムを取り入れ、自己調整しながら深めていく力をつけさせる。</li> </ul>		○	
自分の学びを深め、次につなげる児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「単元末・単位時間ごとの振り返りの場面で、OPPAシートを使って自分の学びを深め次につながる振り返りができた」の問いに肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 R7年度3学期末「振り返りで自分の学びを深めることができた」結果 92%</li> </ul>	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭で過ごす時間の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者は、毎月実施される「全校家読デー」の時に、共に読書したり、子どもが読書している様子を見たりし、親子の関わりを持つようにする。</li> </ul>		○		研修部
		学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 互いを尊重する力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担任は、毎月1回以上、自分のクラスの成長や頑張りを振り返る学級会(生活目標反省時等)を行い、大きな花カードを作成する。</li> </ul>			○	育成部
		学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「咸宜っ子の木」の取組の際、毎月1回以上話し合い活動の中で自分やクラスの成長を振り返ることができたと答える児童の割合を、全体で80%以上にする。 R7年度1学期末結果 91%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自立した学習者」を生む授業づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担任は、「なかよしタイム」で良いところを認める場を設定し、否定的な児童には、個別に声かけをする。</li> </ul>			○
自他の違いを認め、児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「咸宜っ子の木」の取組の際、毎月1回以上話し合い活動の中で自分やクラスの成長を振り返ることができたと答える児童の割合を、全体で80%以上にする。 R7年度1学期末結果 91%</li> <li>「学校に行くのは、楽しいです」の問いに否定的(D評価)に回答する児童の割合を5%以下にする。 R7年度年間平均結果 4.0%</li> </ul>	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家族同士の挨拶の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者は、各学期に行う「家族あいさつ週間」で、家族でのあいさつを活性化(増やす)させる。</li> </ul>			○	生徒指導部
		地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挨拶と声かけの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スクールガードを中心に、登下校時、積極的に挨拶や声掛けを行う。</li> </ul>			○	生徒指導部
【働き方改革の推進】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 超過勤務時間を月平均45時間以内にする。 R7年度年間平均43時間</li> </ul>	学校等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全職員による現状把握と業務の見直し・改善</li> <li>○ 超過勤務時間の削減</li> <li>○ 学校支援体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学期に1回連絡会の中で、「働き方改革推進会議」を開催し、働き方改革に向けた先進校の取組・好事例等の共有を図ると共にSSSを効果的に活用させる。</li> <li>○ 管理職は、月2回のノー残業デーの確実な実施に向け、周知を積極的に行う。</li> <li>○ 学校運営協議会は地域人材の活用に協力する。</li> </ul>				校長・教頭 校長・教頭 校長・教頭